

# 鹿児島国際大学附属図書館 資料収集方針

## I. 資料収集方針の目的

本方針は、本学の教育・研究及び学生の学習活動を支援するために、図書・学術雑誌・電子資料・視聴覚資料等、各種学術情報資源を計画的かつ体系的に収集し、適切な蔵書構築を図ることを目的とする。

## II. 資料収集に関する基本方針

### 1. 収集対象資料

- (1) 本学の教育・研究及び学習活動に必要な基本的・標準的資料を収集する。
- (2) 本学の学部・学科及び研究科の構成、研究動向を踏まえ、分野ごとに体系的な収集を行う。
- (3) 多様な学説・立場が存在するテーマについては、公平性を確保し、異なる立場の資料を幅広く収集する。
- (4) 著者の思想・宗教・政治的立場に左右されず、学術的価値を基準として収集する。
- (5) 利用者からの購入希望には十分に配慮し、必要に応じて選書に反映する。

### 2. 収集基準

本学の教育・研究に資する「基本資料」を中心に収集し、次を基準とする。

- (1) 学部・学科及び研究科の専門領域との適合性
- (2) 教学上のカリキュラムとの関連性
- (3) 学生・研究者の学習・研究ニーズ
- (4) 蔵書構成上のバランス

### 3. 貴重資料

学術的価値が高く、保存に特別な配慮を要する資料については、図書館が貴重資料として収集・指定し、別置保存を行うことができる。

### 4. 寄贈資料

- (1) 寄贈資料は、全体の蔵書構成、書架スペース、重複の有無、資料の保存状態等を総合的に判断し、受入の可否を決定する。
- (2) 重複資料は原則受け入れず、資料価値の高い学術資料を優先的に受け入れる。

### 5. その他の資料

- (1) 大学関係資料
  - ① 本学の沿革・教育・研究活動に関する刊行物
  - ② 本学関係者（教職員・学生・卒業生）の著作物
- (2) 学生の進路選択に資する資格・検定・進学・就職関連資料  
必要に応じて定期的に更新・入替を行う。

### 6. 資料収集方針の公開

本方針は学内外に公開し、本学構成員の合意形成を図りつつ適正な蔵書構築に努める。また、利用者ニーズ及び教育・研究の変化に応じ、必要に応じて図書館運営委員会の審議を経て改定する。

## 7. 資料の除籍・廃棄

限られたスペースを適切に活用するため、定期的に蔵書点検を行い、所蔵継続の必要性を評価し、除籍・廃棄を実施する。

※「図書の〈保管期限〉についての運用内規」に基づく。

## III. 選書ガイドライン（予算費目別）

### 1. 図書

#### (1) 学科選定図書

##### ① 学科基本図書

- ア) シラバス掲載の授業内容に即した図書
- イ) 授業に関連が深く、学生の必読図書
- ウ) 辞典・年報・年鑑・全集・総記など、一般的かつ広く利用される図書
- エ) 原則として未所蔵の図書

##### ② 学科学生図書

- ア) シラバス掲載の授業内容に即した図書
- イ) 学生の学習・研究に必要な図書
- ウ) 一般教養の涵養に資する図書
- エ) 原則として未所蔵の図書
- オ) 単行図書（継続図書は除く）

★以下の資料は原則として除外する

雑誌、継続扱い文庫・新書、実用書・ハウツー本、タレント本、長期保存に適さない資料など。

◎学科選定図書の収集及び選定については、各学科に学科選定図書委員を置いて運用する。

#### (2) 基本図書

辞典・年報・年鑑・全集・総記など、図書館に必須とされる基礎資料で、1冊または1セット3万円以上のもの。

◎基本図書は、教員から推薦を募り、図書館運営委員会で選定する。また、これとは別に図書館も選定する。

#### (3) 学生図書

- ① 学生の学習・研究・教養に資する図書
- ② 講義参考図書

◎学生図書は、教員から推薦を募り図書館運営委員会で選定結果を追認する。また、これとは別に図書館も選定する。

#### (4) 継続購入する文庫・新書

以下の文庫・新書は継続的に購入する

岩波文庫、朝日文庫、新潮文庫、東洋文庫、岩波新書、中公新書

#### (5) 寄贈図書

原則として未所蔵図書のみ受入対象とし、資料の状態により受入れない場合がある。

## 2. 非図書資料（視聴覚資料等）

劣化しにくい媒体（CD・DVD等）を購入する。映像資料は著作権処理済のものを購入する。

◎図書と同様の手続きで予算を執行する。

## 3. 逐次刊行物

### (1) 雑誌（電子ジャーナルを含む）

教員から新規購読希望を募り、学部推薦を踏まえ図書館運営委員会で決定する。また、これとは別に図書館でも選定を行う。

### (2) 大学紀要

学術リポジトリ等で公開されているものは、原則として冊子体を受け入れない。

### (3) 新聞

本学の教育・研究・社会動向把握に必要なものを選定する。

## 4. データベース

学生・教員が学内で自由に利用できるものを選定する。

◎学部推薦に基づき、図書館運営委員会が決定する。

以上